

あじさい



〒650-0013 神戸市中央区花隈町33番19号 Tel. (078) 351-0657 (代表) <http://www.kobe-kango.ac.jp/>



五〇周年記念誌編纂と

その後の動き

事務部長 増田 信幸

本校は昭和三五年（1960年）に准看護婦学校を開校して既にこの四月で五二年を迎えました。昭和三四年当時神戸市内の私立病院長の親睦会を基盤に神戸私立病院長会が結成され、自分たちの自前の看護師（当時は看護婦と呼称）を養成したいとして看護学校が設立されました。最初は准看護師の養成に始まりましたが看護師養成が望まれたことから准看護師を養成を中止し、2年課程定時制や同全日制の看護師養成課程がそれぞれ開設されました。しかし准看護師資格のある受験者が年々減少してきたことを受け、高等学校卒業資格だけで看護師資格を取得できる3年課程が平成五年に設置されました。このように本校では三つの学科が併存する県内でもユニークな学校となりましたがこれも長くは続かず准看護師の応募者が年々減少してきたため、昨年には2年課程定時制が、また昨年三月には2年課程全日制がそれぞれ閉科し、現在は3年課程単科の養成校となりました。

このように本校の長い歴史の中で昭和六三年に「神戸看護専門学校創立二〇周年記念誌」が編纂されており、この度、准看護婦養成事業開始以来五〇年の節目にあたり、学校の歴史を長く記録に留めるため、本校の黎明期から現在に至るまでの経過を記録として残すことになりました。この編纂にあたって本校の開設に携わられた会員病院の先生方、実習病院の方々、歴代の教職員の方々など多くの方々にお話しを伺い、ご多々の参加をお願いし、一年がかりで漸くこの程刊行に漕ぎつけました。

さて本校は兵庫県民間病院協会の5支部の一つである神戸支部が本部に代わって管理運営を行っています。当協会は前述の通り神戸私立病院長会として設立され、その後昭和四五年には兵庫県全体の組織として兵庫県私立病院長会へと発展し現在は兵庫県民間病院協会と改称しています。その過程で神戸支部会員病院の先生方が中心となり校舎建設にも自分たちが資金を拠出して看護学校を運営してきたことから看護学校への思いは強く、来年四月に神戸支部が兵庫県民間病院協会から独立して新法人格を取得し、その下で看護学校を運営していくことになりました。

実は昨年10月から今年3月始めまで林学校長と小職は本校が資金面で世話になっている学校運営基金協力病院のうち65病院を訪問して協力頂いている病院に対して学校として何ができるかを尋ねてきました。

この訪問で分かったことは病院が看護師採用時に、新聞広告や職安登録では看護師が採用できず、人材斡旋業者に頼らざるを得ない状況にあり、高額な謝礼をしても6カ月で辞めてしまうことも非常に困っていると言っていました。そこで新法人の事業として看護師の養成のみならず、既卒者で転職を考えている人や、家庭にいて休職中の看護師を会員病院に紹介することが出来ないか模索中です。准看護師を含めた卒業生は六三〇名以上のいることから、本校でネットワークを構築し、卒業生が出来る限り会員病院内から他団体に流出しないようなスキームをつくるのが出来れば会員病院に貢献出来るの思いでこれから事業展開を考えていきますので皆さま方のご支援をお願いいたします。

この訪問で分かったことは病院が看護師採用時に、新聞広告や職安登録では看護師が採用できず、人材斡旋業者に頼らざるを得ない状況にあり、高額な謝礼をしても6カ月で辞めてしまうことも非常に困っていると言っていました。そこで新法人の事業として看護師の養成のみならず、既卒者で転職を考えている人や、家庭にいて休職中の看護師を会員病院に紹介することが出来ないか模索中です。准看護師を含めた卒業生は六三〇名以上のいることから、本校でネットワークを構築し、卒業生が出来る限り会員病院内から他団体に流出しないようなスキームをつくるのが出来れば会員病院に貢献出来るの思いでこれから事業展開を考えていきますので皆さま方のご支援をお願いいたします。

この訪問で分かったことは病院が看護師採用時に、新聞広告や職安登録では看護師が採用できず、人材斡旋業者に頼らざるを得ない状況にあり、高額な謝礼をしても6カ月で辞めてしまうことも非常に困っていると言っていました。そこで新法人の事業として看護師の養成のみならず、既卒者で転職を考えている人や、家庭にいて休職中の看護師を会員病院に紹介することが出来ないか模索中です。准看護師を含めた卒業生は六三〇名以上のいることから、本校でネットワークを構築し、卒業生が出来る限り会員病院内から他団体に流出しないようなスキームをつくるのが出来れば会員病院に貢献出来るの思いでこれから事業展開を考えていきますので皆さま方のご支援をお願いいたします。

この訪問で分かったことは病院が看護師採用時に、新聞広告や職安登録では看護師が採用できず、人材斡旋業者に頼らざるを得ない状況にあり、高額な謝礼をしても6カ月で辞めてしまうことも非常に困っていると言っていました。そこで新法人の事業として看護師の養成のみならず、既卒者で転職を考えている人や、家庭にいて休職中の看護師を会員病院に紹介することが出来ないか模索中です。准看護師を含めた卒業生は六三〇名以上のいることから、本校でネットワークを構築し、卒業生が出来る限り会員病院内から他団体に流出しないようなスキームをつくるのが出来れば会員病院に貢献出来るの思いでこれから事業展開を考えていきますので皆さま方のご支援をお願いいたします。

講師会議

平成24年4月10日の午後、講師会を開催しました。今年度の講義を依頼している13名の講師の先生方に出席頂き、各学年の学生状況や教育課程・履修規程等の説明を行いました。その後、各専門分野に分かれ、専任教員も加わった活発な意見交換ができました。今後も講師の先生方とともに「感じ考え行動できる看護師」の育成に携わっていく所存です。

副学校長 山内美千代

平成24年度 入学式

平成24年4月10日 本校8階講堂にて入学式が執り行われ、66名の新入生を迎えました。





1年1組
大和田 伊都子

私は、本校に入学するまでアルバイトや派遣社員など職種も形態も様々な環境で勤務しており、夢や目標は特になくこのままでいいのかと悩んだ時期もありました。

最後に就職したのは医療事務でそこでの出会いで私の人生は変わりました。

一生、透析に通い続ける患者さん、それを迎えるスタッフ達。私も透析するならこの病院がいいなと思うほど楽しく、それは主に看護師の力なのだと感じ、私は32歳で初めて職業に對する憧れをもちました。

入学した今、あの時勇気を出して受験して本当に良かったと思います。これから3年間初心を忘れず夢の看護師になるために努力していこうと思います。



1年1組
高橋 明日香

私は、高知県から今年の春に神戸へ引越してきました。

神戸市には知り合いも居らず、不安な気持ちで入学式を迎えました。がオリエンテーション中に何人が話せる人ができず、不安な気持ちが少しずつ和らいできました。

これからの3年間は心身共に大きく成長し、知識はもちろんですが患者様の不安を少しでも取り除き、笑顔でいられる時間を増やしてあげることができるよう看護師を目指します。出来ることから「コツコツ」と日々成長していきたいです。



1年2組
博多 毬子

私は1年間浪人してこの学校に入学しました。入学当初は、浪人しているというところもあり、周りに馴染めるかとか勉強についていけないかとか不安に思



1年2組
森田 耕基

うことがたくさんありました。しかし、日々過ぎていくうちに様々な年代の方々と知り合うことができ、また学習内容にも興味深いものがたくさんあったのでこれからの学校生活を楽しく意欲的に頑張れそうだと思います。誰からも愛される素敵な看護師になるためにも、これから3年間、努力を惜しまず一所懸命がんばります。

入学し数日が経ち、本格的に授業が始まるうとしています。私は社会人を数年経験してからの入学でしたので最初は学生生活に不安も多くありましたが、今は現役生から様々な職業を経験された社会人の方々と、多数なクラスメイトに出会い刺激を受け楽しみへと変化してきました。

これから3年間、大切な仲間とともに互いに刺激し合い成長していきたいです。



カムバックDAY

*全卒業生対象の初めてのカムバックDAY全体会を平成24年1月28日(土)に開催しました。何人来てくれるかなと心配でしたが、当日はなんと100人近くもの卒業生が集合してくれました。

ケーキにドリンク、そしてミニソプラノコンサートもあり、皆さんには午後の楽しいひと時を過ぎて頂けたようです。ママさん達も多く、子育て相談もあちこちで聞かれ、懐かしい顔にみんなが多いに盛り上がった一日となりました。

来年また多くの卒業生と再会できるのを楽しみにしています。

*カムバックDAY全体会のお知らせ

昨年度に続き、今年も平成25年1月26日(土)の全体カムバックDAYを開催します。

*平成24年5月28日(月)には平成23年度卒業の7期生のみ卒業生カムバックDAYを開催しました。24人の卒業生たちの参加がありました。各自の卒業後の近況報告を中心に卒業生と教員とでの楽しいひと時を送ることができました。

教務主任 大西 安代



平成24年度 新入生歓迎会

平成24年4月27日朝から天候に恵まれ、10期生を迎えての新入生歓迎会が行われました。9期生の新入生歓迎会委員を中心に、在校生一同で新入生を歓迎するための準備を進めました。

昨年は自分たちが、歓迎されてうれしかったことや上級生との交流が図れたことなどを思い出しつつ計画しました。事前にグループ毎にビジョンとゴールを設定する段階から、ワイワイと交流を図りつつ行き先を決定し、いよいよ出発!!

神戸市内散策後のグループ発表では、まだまだ知らない神戸を発見する1日になりました。

また、同窓会より記念品として、後日全学生にナースウォッチを贈呈されました。

専任教員 柴田郁子



臨床指導者会 (交流会)

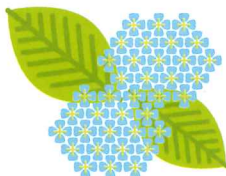
平成23年2月10日(金)神戸メリケンパークオリエンタルホテルで実習指導者との交流会を開催しました。交流会には12施設20名の指導者が参加されました。

今年度から開始となった統合看護技術論での看護職のOBによる複数の模擬患者への看護の授業風景や、フィジカルアセスメント研修の様子など、学校の新たな取り組みをパワーポイントや元ポートフォリオを活用し説明しました。

実習施設の皆さまから学校への要望や学生への思いを伺うことができ、今後ともよりよい教育の実施を目指したいと思えます。

今後とも学校運営にご協力の程よろしくお願いたします。

専任教員 黒田 葉子



教育理念・教育目的・教育目標

教育理念

本校は兵庫県下の民間病院の医療を担う看護者の育成を目的とし、医療安全に対する意識を高く持ち、自ら感じ考え行動できる専門職業人の育成を目指す。

看護はあらゆる健康状態の人々を対象とし、生涯を通してその最期までその人らしい生活を送れるように支援することである。

また、学生一人ひとりをかけがいのない存在としてとらえ、可能性を引き出し、その能力を最大限に発揮できるように支援する。

教育目的

本校は看護師に必要な基礎的知識・技術・態度を修得し、豊かな人間性を育み、倫理的価値観を形成し、兵庫県下の民間医療に貢献できる看護の実践者を育成することを目的とする。

教育目標

1. 生命の尊重と人間愛を基礎とし、相手を思いやる豊かな人間性を養う。
2. 人間を統合的に理解し、看護を必要とする対象に対して、根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
3. 看護職としての役割と責任を認識し、保健医療福祉チームの一員として社会に貢献できる基礎的能力を養う。
4. 自らの意志で学び、よりよい看護を探究する基礎的能力を養う。



平成24年度 年間予定表

行事		行事	
4月	入学式 講師会議 健康診断 特別講演 防犯訓練 新入生歓迎会	9月	オープンキャンパス 実習宣誓式(1年生)
5月	卒業生の体験を語る会 学外研修(1年生) 卒業生カムバックデイ	10月	防火訓練
6月	歌舞伎鑑賞(1年生)	11月	推薦・社会人入学試験 解剖見学(1年生) 学外研修(3年生)
7月	学外研修(2年生)	12月	芸術鑑賞 学年交流会(全学年)
8月	オープンキャンパス 臨床指導者研修会 夏期休暇	1月	一般入学試験(一次) 卒業生カムバックデイ 全体会
		2月	一般入学試験(二次) 入学前説明会・奨学金 病院説明会
		3月	卒業証書授与式



(校舎)

同窓会だより

平成24年5月28日(月)、神戸看護専門学校 講堂にて参加者26名のもと同窓会総会が開催されました。

島岡正晴会長より平成23年度の活動報告および平成24年度活動予定が、会計の渡辺美和さんからは収支決算報告がされました。また、同窓会活動に組入れたい行事があれば、申し出て欲しいと、島岡会長より発言されました。本校が窓口となっていますので、副学校長まで申し出てください。

オブザーバーの林学校長より学校が窓口の「医療職就職サポート」計画の説明があり、卒業生の皆さんで転職を悩んでいる人がいれば、学校長に相談して欲しいとの説明がありました。

編集後記

入学式が終わり、10期生66名の新入生を迎え新たな1年が始まりました。1年生は仲間と刺激しあいながら勉学に励み、また2・3年生は臨地実習において看護の楽しさと奥深さを感じることを思います。学生たちが自分のビジョンとゴールに向けて前向きに臨んでいくことができるように、教職員一同協力して支援していきたく思います。

また今年度であじさい創刊6年目となりました。これからも皆さまへ学生や学校の情報を提供することができるよう努めていきたいと思っております。皆さまからのご意見・ご投稿をお待ちしております。

広報委員 教務部 黒田 葉子

あじさい 第8期

発行日 平成24年6月30日

発行所 社団法人兵庫県民間病院協会
神戸看護専門学校

発行責任者 林 美栄子

印刷所 有限会社 河里盛広館